

近代化遺産の 保存と活用を考える

2021年

11月27日(土)

講演会

参加費：500円(資料代)
主催：
足利の近代化遺産を考える会

13:00 開会

会場：助戸公民館ホール

栃木県指定有形文化財
「旧木村家工場棟」

13:30

■主催者挨拶

足利の近代化遺産を考える会 会長
岩本秀雄

■来賓挨拶

足利大学副学長
末武義崇 様
足利市教育委員会教育長
須藤秀幸 様

■お申込み・お問い合わせ

「会場参加」か「WEB参加(ZOOM配信)」のいずれかで申込みをお願いいたします。

①会場参加

定員：ホール50人(先着順)または中継会議室36人

②WEB参加

定員：ズーム配信100人

※後日参加URLをメールにてお知らせし、冊子資料は郵送します。(参加費+郵送代)

申込先 FAX 0284-22-7526 (受付 富田)
メール ashikaga.kindaikaisan@gmail.com

13:50

■講演 1

『近代土木遺産としての
中橋の評価と今日的意義』

14:20

■講演 2

『近代化遺産を「まもる」「継ぐ」
まちづくり』

15:20 休憩

15:30

■講演 3

『保存と創造の
境界線上から考える』

16:30 質疑応答

16:40 閉会

講演 1

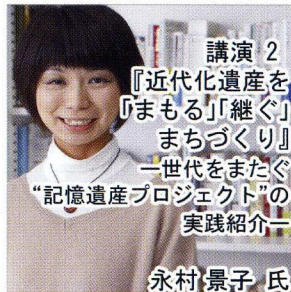
『近代土木遺産としての
中橋の評価と今日的意義』



福島 二郎
(足利の近代化遺産を考える会
足利大学)

講演 2

『近代化遺産を
「まもる」「継ぐ」
まちづくり』
—世代をまたぐ
“記憶遺産プロジェクト”の
実践紹介—



永村 景子 氏
(日本大学専任講師)

講演 3

『保存と創造の
境界線上から考える』
—歴史的建造物を活かす
“ツギハグデザイン”の
いろいろ—



西村 祐人 氏
(修復建築家
㈱デザイン・フォー・ヘリテージ
代表)

新型コロナウイルス感染防止対策として定員以下で会場を利用します。
マスクの着用と、入場時の検温と手指消毒にご協力をお願いします。

後援：栃木県教育委員会 / 足利市教育委員会 / 足利大学 / 文星芸術大学
/ 土木学会土木史委員会 / 足利市文化財愛護協会
/ 朝日新聞宇都宮総局 / 毎日新聞宇都宮支局 / 読売新聞宇都宮支局
/ 下野新聞社 / わたらせテレビ / 市民グループ「あどもい」

協賛：全国近代化遺産活用連絡協議会

